

平成23年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

平成22年10月14日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 スーパーツール
 コード番号 5990 URL <http://www.supertool.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長
 四半期報告書提出予定日 平成22年10月29日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 吉川 明
 (氏名) 篠畑 雅光
 配当支払開始予定日

TEL 072-236-5521
 平成22年11月15日

(百万円未満切捨て)

1. 平成23年3月期第2四半期の業績(平成22年3月16日～平成22年9月15日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
23年3月期第2四半期	1,927	18.9	180	103.6	138	90.7	90	132.4
22年3月期第2四半期	1,620	△43.8	88	△81.1	72	△82.7	38	△84.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
23年3月期第2四半期	11.10	—
22年3月期第2四半期	4.78	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
23年3月期第2四半期	8,513	5,068	59.5	624.21
22年3月期	8,950	5,016	56.0	617.70

(参考) 自己資本 23年3月期第2四半期 5,068百万円 22年3月期 5,016百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
22年3月期	—	6.00	—	6.00	12.00
23年3月期	—	6.00	—	—	—
23年3月期(予想)	—	—	—	6.00	12.00

(注) 当四半期における配当予想の修正有無 無

3. 平成23年3月期の業績予想(平成22年3月16日～平成23年3月15日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,000	23.5	450	180.1	350	154.6	200	172.0	24.63

(注) 当四半期における業績予想の修正有無 無

4. その他（詳細は、【添付資料】P.3「その他」をご覧ください。）

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 無

(注)簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用の有無となります。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(注)「四半期財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更」に記載される四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の有無となります。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 23年3月期2Q 8,245,480株 22年3月期 8,245,480株

② 期末自己株式数 23年3月期2Q 125,180株 22年3月期 124,240株

③ 期中平均株式数(四半期累計) 23年3月期2Q 8,120,613株 22年3月期2Q 8,121,645株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する定性的情報	2
(2) 財政状態に関する定性的情報	2
(3) 業績予想に関する定性的情報	3
2. その他の情報	3
(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要	3
(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要	3
(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
【第2四半期累計期間】	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9

1. 当四半期の業績等に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する定性的情報

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新興国の経済成長に支えられた輸出の拡大や政府の経済対策の効果により一部企業においては収益改善の兆しがみられましたが、不安定な欧州経済や米国経済の減速懸念に起因する円高、デフレの進行、厳しい雇用情勢など依然として先行き不透明な状況にあります。

このような状況のなかで、当社は、ユーザーの目線に立った作業性重視の個性ある製品、品質の良い製品をロープライスで提供すべく製品開発を行い、また、販売面では、取引先・ユーザーへの積極的な提案と新製品説明会・各種展示会やホームページの充実等により、スーパー印製品の浸透と新規市場の開拓を行なって参りました。

その結果、売上高は1,927百万円(前年同期比18.9%増)となりました。部門別では、作業工具部門1,292百万円(前年同期比20.4%増)、産業機器部門630百万円(前年同期比18.2%増)、不動産賃貸部門4百万円(前年同期比67.3%減)となりました。

損益面につきましては、売上・生産の回復による操業度の向上に加え、コスト構造の抜本の見直し等を図ってまいりました結果、営業利益は180百万円(前年同期比103.6%増)、経常利益は138百万円(前年同期比90.7%増)、四半期純利益は90百万円(前年同期比132.4%増)となりました。

(2) 財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産につきましては、前事業年度末に比べ437百万円(4.9%)減少し8,513百万円となりました。主な増減は、現預金の減少379百万円、有価証券の減少200百万円、製品の増加80百万円、関係会社出資金の増加51百万円等であります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債につきましては、前事業年度末に比べ489百万円(12.4%)減少し3,444百万円となりました。主な増減は、短期借入金の減少370百万円、1年内償還予定の社債の減少100百万円等であります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産につきましては、前事業年度末に比べ52百万円(1.0%)増加し5,068百万円となりました。主な増減は、第2四半期純利益の計上90百万円及びその他有価証券評価差額金の増加11百万円並びに配当金の支払48百万円等であります。

キャッシュ・フローの状況

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、834百万円となり、前事業年度末に比べ279百万円減少（前年同期は112百万円減少）となりました。

（営業活動におけるキャッシュ・フロー）

営業活動においては、税引前四半期純利益139百万円、減価償却費66百万円等により資金の増加がありましたが、売上債権の増加60百万円、棚卸資産の増加66百万円、法人税等の支払額46百万円等により、43百万円資金が増加（前年同期は182百万円の増加）しました。

（投資活動におけるキャッシュ・フロー）

投資活動においては、定期預金の払戻し100百万円、有価証券の償還200百万円等により資金の増加がありましたが、関係会社出資金の払込み51百万円等の支出により、224百万円資金が増加（前年同期は8百万円の減少）しました。

（財務活動におけるキャッシュ・フロー）

財務活動においては、長期借入金の調達150百万円等により資金の増加がありましたが、短期借入金370百万円の純減、長期借入金の返済178百万円、社債の償還100百万円及び配当金の支払48百万円の支出等により、547百万円資金が減少（前年同期は287百万円の減少）となりました。

(3) 業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成22年4月22日付「平成22年3月期決算短信（非連結）」にて発表いたしました内容から変更はありません。

（注）本資料に記載している業績予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確実な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により予想数値と異なる可能性があります。

2. その他の情報

(1) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の概要

該当事項はありません。

(2) 会計処理の原則・手続、表示方法等の変更の概要

該当事項はありません。

(3) 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月15日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月15日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	834,116	1,213,536
受取手形及び売掛金	520,830	459,906
有価証券	-	200,000
製品	927,019	846,796
仕掛品	528,819	549,549
原材料及び貯蔵品	225,770	218,791
繰延税金資産	36,218	34,054
その他	9,145	9,831
流動資産合計	3,081,920	3,532,465
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	336,972	348,973
機械及び装置（純額）	261,359	292,440
土地	4,171,371	4,171,371
その他（純額）	105,689	107,392
有形固定資産合計	4,875,393	4,920,178
無形固定資産		
	6,577	5,937
投資その他の資産		
投資有価証券	384,057	388,341
関係会社出資金	51,951	-
繰延税金資産	66,511	57,141
その他	47,592	47,400
貸倒引当金	906	1,359
投資その他の資産合計	549,207	491,524
固定資産合計	5,431,178	5,417,640
資産合計	8,513,099	8,950,105
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	300,508	257,041
短期借入金	260,000	630,000
1年内返済予定の長期借入金	362,564	332,564
1年内償還予定の社債	-	100,000
未払金	153,035	148,313
未払法人税等	51,282	50,761
未払費用	7,000	7,245
賞与引当金	30,500	33,400
その他	2,799	181
流動負債合計	1,167,688	1,559,508

(単位:千円)

	当第2四半期会計期間末 (平成22年9月15日)	前事業年度末に係る 要約貸借対照表 (平成22年3月15日)
固定負債		
長期借入金	759,134	817,916
長期未払金	70,359	96,510
再評価に係る繰延税金負債	1,359,280	1,359,280
退職給付引当金	83,140	95,685
その他	4,740	4,740
固定負債合計	2,276,653	2,374,131
負債合計	3,444,342	3,933,640
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,463,274	1,463,274
資本剰余金	342,076	342,076
利益剰余金	1,676,536	1,635,099
自己株式	30,835	30,634
株主資本合計	3,451,051	3,409,815
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	38,800	49,855
土地再評価差額金	1,656,505	1,656,505
評価・換算差額等合計	1,617,705	1,606,650
純資産合計	5,068,756	5,016,465
負債純資産合計	8,513,099	8,950,105

(2) 四半期損益計算書
【第2四半期累計期間】

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年3月16日 至平成21年9月15日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年3月16日 至平成22年9月15日)
売上高	1,620,580	1,927,316
売上原価	1,117,651	1,296,172
売上総利益	502,929	631,144
販売費及び一般管理費	414,218	450,506
営業利益	88,711	180,637
営業外収益		
受取利息	4,681	2,275
受取配当金	2,433	1,920
還付加算金	4,386	-
助成金収入	16,951	-
その他	2,187	3,712
営業外収益合計	30,641	7,908
営業外費用		
支払利息	14,409	12,860
社債利息	429	-
売上割引	26,735	31,117
その他	4,892	5,576
営業外費用合計	46,467	49,553
経常利益	72,885	138,993
特別利益		
貸倒引当金戻入額	453	453
固定資産売却益	-	2
特別利益合計	453	455
特別損失		
固定資産除却損	-	72
特別損失合計	-	72
税引前四半期純利益	73,338	139,376
法人税、住民税及び事業税	38,569	47,658
法人税等調整額	4,022	1,554
法人税等合計	34,546	49,212
四半期純利益	38,791	90,164

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年3月16日 至平成21年9月15日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年3月16日 至平成22年9月15日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	73,338	139,376
減価償却費	82,303	66,724
貸倒引当金の増減額(は減少)	453	453
賞与引当金の増減額(は減少)	6,000	2,900
退職給付引当金の増減額(は減少)	6,433	12,544
長期未払金の増減額(は減少)	31,481	26,151
受取利息及び受取配当金	3,388	4,196
支払利息	14,409	12,860
社債利息	429	-
有形固定資産除売却損益(は益)	-	69
補助金収入	16,951	-
売上債権の増減額(は増加)	52,401	60,924
たな卸資産の増減額(は増加)	228,009	66,472
仕入債務の増減額(は減少)	108,065	43,466
その他	18,492	7,412
小計	272,492	96,267
利息及び配当金の受取額	6,106	6,514
利息の支払額	14,767	12,860
補助金の受取額	16,951	-
特別退職金の支払額	232,972	-
法人税等の還付額	136,440	-
法人税等の支払額	1,254	46,357
営業活動によるキャッシュ・フロー	182,996	43,565
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	-	100,000
有形固定資産の取得による支出	11,314	20,515
有形固定資産の売却による収入	-	8
投資有価証券の取得による支出	1,530	1,461
投資有価証券の償還による収入	-	200,000
無形固定資産の取得による支出	-	1,000
関係会社出資金の払込による支出	-	51,951
投融資の回収による収入	4,040	1,900
従業員に対する長期貸付けによる支出	-	2,440
従業員に対する長期貸付金の回収による収入	-	185
投資活動によるキャッシュ・フロー	8,805	224,725

(単位:千円)

	前第2四半期累計期間 (自平成21年3月16日 至平成21年9月15日)	当第2四半期累計期間 (自平成22年3月16日 至平成22年9月15日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	380,000	370,000
長期借入れによる収入	300,000	150,000
長期借入金の返済による支出	171,484	178,782
社債の償還による支出	-	100,000
自己株式の取得による支出	3,112	201
自己株式の処分による収入	48	-
配当金の支払額	32,551	48,727
財務活動によるキャッシュ・フロー	287,098	547,710
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	112,907	279,420
現金及び現金同等物の期首残高	1,153,366	1,113,536
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,040,459	834,116

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。